

学 科	服飾美術学科	担 当 教 員	高橋 敏子		
授 業 科 目	手工芸	科目区分	専門科目	1 単 位	
必修・選択	選択	授業形態	実習	開 講 時 期	2年次・後期
授業の主題 目 標	手工芸は服飾分野において重要な役割を担っている。その中で編物の分野において技術を習得していく。棒針、かぎ針などを使い、作品（ベスト・セーター・小物類）を仕上げていく。				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 基礎編みの学習 ①棒針編みの表編み, 裏編み 2. 基礎編みの学習 ②棒針編みのガーター編み, かのこ編み 3. 基礎編みの学習 ③棒針編みの穴あき模様編み 4. ベスト, セーターなどの製図, ゲージの割り出し法, 採寸 5. 後身頃制作 目の作り方 6. 後身頃制作 袖ぐりの計算と編み方学習 7. 後身頃制作 肩さがりの計算と編み方学習 8. 後身頃制作 後ろ衿ぐりの計算と編み方学習 9. 前身頃制作 裾から袖ぐりにかけての編み方 10. 前身頃制作 前衿ぐりの計算と編み方学習, 袖の制作 (セーターの場合) 11. 裾のゴム編みの学習 12. 肩はぎ, 衿と袖まわりのゴム編みの学習 13. 仕上げ, 着装, 作品の提出 14. 小物制作 15. まとめ <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	文部科学省後援日本編物検定協会手引き書 毛糸編物5級 適宜プリント配布。				
準備学習の 具体的内容	授業で学んだ技法を復習し, マスターしておく。				
評価の方法 基 準	課題の提出物の評価 (50%) 意欲・応用力・研究的態度 (50%)				
履 修 上 の 注 意	編物未経験者・努力家歓迎。 配布したプリントは毎回授業に持参すること。				